

平成 24 度事業計画

財団法人小堀遠州顕彰会

(1) 報告事項(1)平成 24 度事業計画

(1) 茶会

(イ) 遠州忌茶会

平成 24 年 5 月 12 日 (土) 京都・大徳寺塔頭孤篋庵 (小堀遠州公菩提寺・重要文化財保護建造物) を開放して、開催する。午前 9 時、同庵本堂における遠州茶道宗家 13 世小堀宗実家元の供茶に始まり、法要を営み且つ、山雲床席において京都世話人・赤坂正次理事が濃茶席を、また、忘筌席においては東京世話人・中島高彦 評議員が薄茶席を、其心庵では小堀宗実家元が薄茶席の筌を掛け、遠州公の遺徳を顕彰する。

(ロ) 御自影天神供養茶会(天神茶会)

平成 25 年 2 月 25 日(月) 遠州茶道宗家 (東京都新宿区若宮町) において、遠州公の信仰深かった御自影天神を供養する茶会を開催する。

(ハ) 小堀遠州の世界 2012

平成 24 年 11 月に開催される岡山県高梁市の高梁再発見事業「小堀遠州の世界 2012」を後援する予定である。

(2) 展覧会

平成 25 年 3 月 10 日 (日) に東京美術倶楽部重文展示室において、小堀遠州ゆかりの茶道具を展覧する。

(3) 講演会

(イ) 平成 24 年 10 月 8 日(月・祝) 江戸東京博物館 学習室において、第 7 回秋季講演会を開催する。講師は 華道洗心雲林派 米村孝月先生で、図や古文書を引用しながら遠州の生けた花について講演する。

(ロ) 平成 25 年 3 月 24 日 (日) にニショーホールにおいて、第 26 回公開討論会を開催する。講師は池内克哉監事・熊倉功夫理事・林屋晴三常務理事・小堀正晴理事の予定。テーマは「小堀遠州と千宗旦の茶の湯」(仮)。

(4) 刊行事業

『小堀遠州の書状』第三集を発行する為、資料を収集し、編集を継続する。

(5) 会報の発行

会報『天霽 (てんせい)』34 号を平成 24 年度中に発行し、会員に配布する。

(6) 成趣庵の公開

成趣庵の茶室・露地を公開して茶会を開催し、小堀遠州より繋がる建築・造園の美意識を顕彰し、紹介する。

(7) 文化交流

(イ) 日本・シンガポール親善文化交流

シンガポール国立大学日本研究学科において、毎月茶道教室を開催し、遠州の茶道を紹介する。

(ロ) 日本・オランダ親善文化交流

本年も引き続き日蘭文化交流を継続する。

(8) 茶道指導

小堀正晴理事により広く一般を対象として、遠州の茶道の指導を行う。

(9) その他

(イ) 任期満了に伴い、全役員の改選を行う。

(ロ) 財団移行について

以上が平成24年度における当財団の事業計画の大要である。